

受容体特異的画像化技術を基盤とするがん放射線内用療法  
(radio-theranostics) 研究拠点の形成

京都薬科大学-ヴェルツブルグ大学合同シンポジウム  
主催：京都薬科大学

日時：2020年2月26日（水） 13:30～17:35  
会場：京都薬科大学 愛学ホール（A31講義室）  
参加方法：当日会場にお越しください（参加無料）

## プログラム

開会の辞 京都薬科大学 学長 後藤 直正

13：40～14：20 招待講演 1 （座長：赤路 健一）  
「Learning from nature - bioinspired drug delivery」  
Lorenz Meinel（Julius-Maximilians-Universität Würzburg）

14：20～15：00 招待講演 2 （座長：河嶋 秀和）  
「Functionalized Molecules against age-related diseases」  
Michael Decker（Julius-Maximilians-Universität Würzburg）

15：00～15：10 （休憩）

15：10～16：40 ブランディング事業報告 1 （座長：長谷川 功紀）  
「セラノスティクス研究の推進に向けたイメージング技術の基盤形成」  
河嶋 秀和（京都薬科大学 放射性同位元素研究センター）  
「分子イメージングプローブ開発」  
樋口 隆弘（Julius-Maximilians-Universität Würzburg）  
「がんラジオセラノスティクスプローブの開発状況」  
木村 寛之（京都薬科大学 代謝分析学分野）

16：40～17：20 ブランディング事業報告 2 （座長：木村 寛之）  
「パーキンソン病の病態可視化による新規診断・治療法の開発に向けて」  
西村 周泰（京都薬科大学 統合薬科学系）  
「Notch受容体を標的とする内用療法に基づく難治性腫瘍治療法の開拓」  
長谷川 功紀（京都薬科大学 共同利用機器センター）

閉会の辞 京都薬科大学 副学長 赤路 健一

